

第六次羽村市長期総合計画 「羽村市基本構想 (案)」体系図

1. 基本構想策定の趣旨

人口減少、急速な少子高齢化、ICTの進展、自然災害、新たな感染症の脅威など、これまで経験したことのない速さで、日常生活や地域経済を取り巻く環境が変化しています。そして、そのような変化の激しい時代の中でも、これまでと変わらない暮らしやすさや、持続可能で多様性のある社会の実現が求められるなど、さまざまな事柄が複雑に関わり合う時代を迎えています。
これからの新しい時代の変化に対応し、将来を見据えた羽村市の総合的かつ計画的なまちづくりの指針として、また、今後10年間の市と市民・事業者の行動の指針として、基本構想を策定します。
令和4(2022)年度～令和13(2031)年度(10年間)

2. 基本構想の期間

3. 私たちのまち“はむら”の将来像

市と市民・事業者が、将来のまちの姿を共有し、これからのまちづくりを一緒に進めることができるよう、「私たちのまち“はむら”の将来像」を定めます。

■私たちのまち“はむら”の将来像

輝く笑顔 あふれる活気 暮らしやすさが続くまち はむら

■実現を目指す将来のまちの姿(将来像に込める想い)

令和13(2031)年の羽村市。
そこには、市民、事業者、地域が、世代や立場を超えてさまざまな形でつながり、自分らしく、それぞれの良さを発揮しながら、いきいきと暮らし、働き、活動する様子が広がっています。
まちには、子どもから高齢者まで、明るく元気な笑い声があふれ、幸せや希望に満ちたたくさんの笑顔が見られます。そして、時代の変化と向き合いながら、力強く、前へと進む市民、事業者、地域の活気が、暮らしやすさが続くまちを創り上げ、羽村市のさらなる未来に光を照らしています。
そのような未来を、私たちのまち“はむら”の将来像として描き、私たちは、将来に向けた歩みを進めます。

5. 未来を築く5つのコンセプト

「私たちのまち“はむら”の将来像」の実現に向け、市と市民・事業者が横断的な視点を持って取り組むまちづくりの方向性として、5つのコンセプトを掲げます。

自分らしく生きる

- ＊性別や国籍に関わらず、多様な価値観を認め、尊重するまちを目指します。
- ＊元気に暮らすことができるまちを目指します。
- ＊ともに生き、助け合うまちを目指します。
- ＊いきいきと活動するまちを目指します。

成長をはぐくむ

- ＊子どもたちがすこやかに成長するまちを目指します。
- ＊子どもたちが生きる力を身につけるまちを目指します。
- ＊地域で学び、つながり、活かすことができるまちを目指します。

スマートに暮らす

- ＊快適に暮らせる都市環境が整うまちを目指します。
- ＊いつでもどこでもつながるスマートシティを目指します。
- ＊自然を大切に、次世代につなぐまちを目指します。
- ＊ゼロエMISSIONの地球にやさしいまちを目指します。

にぎわいを創る

- ＊先端技術産業が集まるまちを目指します。
- ＊市内産業が元気に活動するまちを目指します。
- ＊人が集まり、交流を生むまちを目指します。

暮らしを守る

- ＊相互の連携・協力による、災害に強いまちを目指します。
- ＊犯罪や事故から身を守り、安全で、安心して暮らせるまちを目指します。
- ＊感染症などから日常の暮らしを守り、安定した生活ができるまちを目指します。

4. 私たちが大切にしたい

「私たちのまち“はむら”の将来像」の実現に向けた取り組みでは、これまでの「自立と連携」を土台にしながら、次のような「まちづくりで大切にしたい」を市と市民・事業者が共有し、まちづくりを進めていきます。

1. 「人と人とのつながり」を大切にします
2. 「暮らしやすさ」を大切にします
3. 一歩踏み出す「勇気」と「力」を大切にします

※ 5つのコンセプトは、市民・事業者が、まちづくりをより身近に、主体的に捉えて進めていくため、未来を築くキーワードとして示しており、その分類ごとに目指す方向性(どのような状態を目指すのか)や、取組内容(概要)を示しています。

6. 自治体運営の方針

「私たちのまち“はむら”の将来像」を実現するため、市と市民・事業者が連携した基礎自治体としての運営方針を明らかにします。

自治体運営の方針

1. 新たな時代に順応した行政サービスの提供
2. 健全な財政運営